

令和3年9月13日
株式会社シーエス・ワンテン
ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社

ディズニージュニア 番組審議会議事録

- ・日時 令和3年7月
- ・開催方法 新型コロナウイルスの影響により書面にて開催
- ・参加者 審議委員総数 8名
参加委員数 8名

(参加委員名)

- 委員長 山田 顕喜 (日本大学芸術学部映画学科元教授)
- 副委員長 前田 耕作 (生涯教育新聞社代表)
- 委員 木下 美子 (元青山学院初等部英語教諭)
- 委員 土屋 礼子 (朝日新聞社 取締役)
- 委員 名越 康文 (精神科医・評論家)
- 委員 藤田 興彦 (公益法人児童育成協会参事)
- 委員 三枝 幹夫 ((株)オリコンME WEB 編集本部 ORICON NEWS 編集部 編集長)
- 委員 阿部 京子 (ナレーター・キャスター・(有)タイムリーオフィス代表)

(衛星基幹放送事業者：株式会社シーエス・ワンテン)

- 福田 泉 (代表取締役社長)
- 谷 俊之 (編成局長)

(番組供給事業者：ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社)

- 小林 信一 (代表取締役社長)
- 藤 慶英 (メディア戦略 シニアマネージャー)
- 竹内 文吾 (編成 マネージャー)
- 待鳥 雅之 (編成 アシスタント・マネージャー)
- 伊藤 由起 (編成、ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社)

- ・議題 (1) ディズニージュニアの番組編成について
(2) 審議番組「おうこくのめいたんてい ミラ」について

・議事内容

(以下、*：委員からの意見・質問、→：ディズニーの説明・回答)

(1) ディズニージュニアの番組編成について

→7月4日(日)～18日(日)の3週にわたり各日曜日に、「キラキラ・サンデー！」として、「ロケットピア」「おうこくのめいたんてい ミラ」「ミッキーマウス ミックス・アドベンチャー」を特集。

→25日(日)は「トッツ とべ! あかちゃんおとどけたい」のスポーツ特集。

→7月19日～8月27日は、月～金曜日で夏休み編成。

→8月3日(火) は、はちみつの日。くまのプーさん特集(「プーさんといっしょ」特別EP放送)。

→14日(土) は、マペット・ベビー特集。

→21日(土)と22日(日)は、「ドックのおもちやびょういん」特集。

(2) 審議番組「おうこくのめいたんてい ミラ」について

放送概要：

2020年9月27日(日)より放送開始。

約23分×全26話(シーズン1)・約23分×全29話(シーズン2)

番組内容：

ジャルプール王国の少女ミラは、謎解きが得意!その素晴らしい推理力と勇気を女王に気に入られ、憧れの宮廷探偵に!発明好きな友人のニール王子、いここで親友のプリヤ、マンガースのミクとチクを相棒に、名探偵ミラはどんな謎や事件も見事に解決へと導く。虫メガネを覗けば真実が!?インドの文化や慣習にちなんだストーリーとインドを感じる音楽やアート、振付師による本格派の Bollywood ダンスに心も躍る謎解きアドベンチャー。

→本作では、毎話でミラたちが王国内で起こる様々な謎や事件を解決。ミラたちが手掛かりに基づいて推理する過程を通して、子供たちの思考力や想像力が育まれる。インドをモチーフとした作品のため、お祭りやファッションなど未知の文化、芸術に触れることで、子供たちの歓声や創造性が培われる内容となっている。

*意見が分かれても、間違いと分かればそれを認めて謝って、知恵を合わせてあきらめないところや、協力して謎を解いていくというテーマがしっかりしている。

- *ストーリー展開が画と音がマッチして面白く描かれている。未就学児童向けとしてピタリで、奇想天外なストーリー展開が楽しめる。
- *キャラクターたちの個性も豊かで、大きな目の輝きも魅力的。
- *これまで「アラジン」などアラビア地方の中東の音楽やリズムを扱うものはあったが、インドの文化を扱うものは初めてだろうか。
- *インドは大国。これからさらに文化的にも経済的にも力を拡大させていくと思われるので、今のうちから関りを持って触れておくことは必要となるかもしれない。
- *今回見せてもらったエピソード後編のじゅうたんが無くなるというストーリーは面白い。あまりの暑さのため、近くに「落ちていた」絨毯を拾って日除けとして使うところが印象深かった。日本の文化的には、「それでもモノを盗んではいけない」という倫理観があるので理解しがたいと思われてしまう部分もあるが、暑さも湿度も限界を超えている不快な状況では致し方ないという環境なのだろうなと感じた。
- *ミクとチクの二人がいるのは良い。動物がいるのは親しみがわく。
- *色がとても綺麗。子供のころに綺麗な色の絵本を見て興奮したのを思い出した。
- *女の子はあの衣装を着てみたくなると思う。とても素敵だが、衣装にはデザイナーが付いているのだろうか。
- *ストーリー内容も、誰かを恨んだり悪者にしたりせず、一緒に楽しむというところに、とても好感を持った。
- *全編にわたって楽しい番組。ファッション、音楽、ダンス、そして謎解きなど、こどもたちにとっては興味の的。似た印象を持つ実写版「アラジン」がヒットし、多くの子供たちの心をつかむのではないだろうか。
- *色がビビットでエキゾチックなインドの世界を良く表している。CGも3D表現や動きがなめらかで、テクスチャーなどクオリティが高い。
- *「謎とき」「良く考えてみよう」というメッセージが子どもの探求心や想像力を刺激し、大変良いテーマだと思う。
- *何かあっても最後に「仲直り」という形が、2～5歳というターゲットにはシンプルで分かりやすく、親も安心して見せられると思う。
- *「クルフィ」「サモサ」など日本の子どもには身近でないものは、たとえば「アイス」「揚げ菓子？」にするなど工夫が必要かもしれない。
- *インド音楽の乗せた軽快なポリウッドダンスとチャーミングな謎解き要素が合わさり、鑑賞後に心地よい気分になれる作品。
- *インドの文化や習慣を盛り込んだストーリー展開は、子ども達にとって“新鮮な学び”にもなるはず。
- *出来れば、もう少しダイナミックなアクションや立体的なレイアウトのアニメーションならば、より魅了できるのではないかと感じた。
- *協力して謎解きをしながらインド文化に触れることができる児童向けストーリー展開が、

好評を得られるだろう。

- 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置その年月日：
今回の審議会に出された意見については、審議会が開かれた令和 3 年 7 月以降、各番組のプロデューサー、担当者へのフィードバックをはじめ、番組制作会議等で、活用し、さらなる番組の向上のために適切な措置を講じるよう努めていく。
- 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法、及び年月日：
令和 3 年 9 月以降に、ホームページに審議会概要を掲載、公表する予定。

以上